

ジェイク、我が家にやって
来てくれてありがとう！
君は最高の相棒だ！

九州の星
Star of Kyushu

| 85 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです



ペットショップで売れ残っていたジェイクを奥様が気にかけて家にお迎えしたのが始まり。現在はジェイクの娘・トリクシー（3歳）も競技で活躍する



奥様の三加子さんと一緒に。奥様が抱えているのはジェイクの妻でリノ

川口 輝

KAWAGUCHI AKIRA

熊本市出身・在住
勤務先：熊本市西消防署
河内出張所 所長



◀ディスクをキャッチしようとする
ジェイク



▲月1回、南阿蘇などでチーム練習を行う。
ディスクの飛ばし方などのコツを伝授



▲フライングディスクのチーム「テクニカル
ドッグスポーツ熊本」。愛犬と一緒に
パシャリ

長らく優勝から遠ざかっていたことを川口さんは「この競技は人間のメンタルに影響します。犬はいつも一生懸命走ってくれる。優勝したことで自分で自分にプレッシャーをかけて追い込んでいました」

フリズビードッグ(※)は、人間が投げたフライングディスクを愛犬がキャッチして戻ってくる競技。これを60秒間繰り返し得点の合計を競う。より遠くに投げた方が得点が高くなる。

今年5月、三重県鈴鹿市で開催された日本フリズビードッグ協会主催の「ジャパンファイナル2023」の小型犬部門で日本一に輝いた川口輝さんと愛犬ジェイク(ジャックラッセルテリア、雄11歳)。

5年ぶり2度目の優勝を飾った。

愛犬との絆が深まるフライングディスク

と分析。突破口は「信頼関係」だった。「ジェイクと競技するときは、お互い『俺に任せろ!』状態です(笑)」。

大会出場時、ジェイクは10歳11カ月。人間なら還暦だ。「ジェイクと一緒に戦えるのは今年が最後かもしれないと、一投一投丁寧に、真剣に挑みました」。

現在、フライングディスク競技の魅力をもっと知ってもらいたいとチーム「テクニカルドッグスポーツ熊本」を立ち上げ、月1回集まって練習をしている。

「来年4月、ジャパンファイナルが福岡で開催されます。チーム全員がそのステージに上れるように頑張りたいです」

(※)フリズビードッグの「フリズビー」はアメリカカウムオー社の登録商標のため、最近では「フライングディスク」の呼称が一般的になっている